

**アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール氏が
2018 年 7 月 23 日に発表した 7 つの優先プログラム**

(1) メキシコシティ国際空港

現国際空港の飽和状態の解消に向けた新空港の建設、あるいは代替空港の拡充。現時点で、①連邦政府（空港公団）による新空港建設、②民間へのコンセッション付与を通じた新空港建設、③新空港建設の中止と代替空港（サントルシア空軍基地）の拡充、の 3 つの案が存在するが、最終的には国民投票で決定する。

(2) テワンテペック地峡の開発

メキシコ湾岸ベラクルス州コアツァコアルコスと太平洋岸オアハカ州サリナクルスを 300 キロメートルでつなぐテワンテペック地峡の物流回廊の開発。既存の鉄道や道路インフラの拡充、両岸の港湾開発、通信インフラの整備などを計画。

(3) マヤ観光鉄道の建設

キンタナロー州のリゾート地カンクンから同州トゥルム遺跡、カンペチェ州カラクムル遺跡、チアパス州パレンケ遺跡までをつなぐ高速旅客鉄道の建設。

(4) オアハカ州とゲレロ州を中心とする 300 の地方道路の整備

オアハカ州やゲレロ州など舗装道路の整備が遅れている州を中心に 300 の地方道を建設することで 5 万人の雇用を創出する。

(5) 全国インターネット網の整備

国内全領域でインターネットが利用できるように通信網を整備する。現状では国土の 25%しかカバーされていない。

(6) 震災被害地域の復興

2017 年に震災被害にあった地域の復興および避難民への支援。2018 年 9 月 17 日までに具体的な計画を策定する。

(7) 観光地の貧困集落への特別支援

高級ホテルが立ち並ぶ観光地にありながらも、貧困に苦しむ集落を支援する特別プログラム。

（出所）アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール氏の公式サイトを基に作成